

## 提 案 理 由 説 明

令和元年9月4日

本日ここに、第3回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

### 1. 各種報告

#### (兄弟都市提携50周年記念)

まず、兄弟都市提携50周年記念についてでございます。

ご案内のように島原市とは、江戸時代から豊後高田が島原藩の支藩であった歴史的な縁により、昭和44年4月25日に兄弟都市を締結いたしました。それ以降、友好親善訪問と受け入れを10年ごとに行っているところでございます。

8月18日から2日間、提携50周年を記念して、古川市長をはじめ、市議会や経済団体、自治委員連合会の関係者の皆様方など、総勢87名の友好親善訪問をいただき、両市の更なる発展に向けた交流を行いました。

両日ともに、議員各位をはじめ多くの市民の皆様のご参加のもと、歓迎・交流行事を行うとともに、「高田観光盆踊り大会」や「おおいの伝統芸能の祭典」のご観覧、昭和の町や長崎鼻などの周遊を存分に楽しんでいただいたことにより、交流の輪を一段と広げられたものと思っております。

また、島原市との児童会交流事業も8月8日から2泊3日で行い、全小学校から児童会の子どもたちが島原市を訪問しました。古川市長への表敬訪問をはじめ、兄弟校との平和学習、雲仙岳災害記念館

見学などをおし、「命の大切さ、平和の尊さ、感謝の気持ち」を学んでまいりました。

今後とも、兄弟都市としての絆を深め、両市の更なる発展を図るべく、次世代に継承してまいりたいと思っております。

### (住みよさランキング2019・県内1位)

次に、東洋経済新報社が発表しております、全国812市区を対象とした2019年の「住みよさランキング」におきまして、本市は全国で80位、九州・沖縄ブロックでは4位、そして大分県内では第1位の結果でございました。ここ数年の「住みよさランキング」における本市の順位は年々上昇しておりますが、それでも昨年の全国順位は467位でございました。

今回80位にランク付けされたのは、本市は、「子ども医療費の助成が18歳まで所得制限がないこと」、「人口当たりの犯罪件数が少ないこと」などを評価した「安心度」が、全体の48位であったことに加え、転出入の人口比率や人口当たりの財政歳出額なども、比較的上位であったことが要因のようであります。

また、今年に入りまして、本市の子育て支援、移住定住施策などが多くのマスメディアに注目され、全国放送が立て続けに行われております。更には、本市をメインロケ地とした映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」や「旅猫レポート」も地上波で初放映されました。

外部の高い評価やマスメディアへの露出の多さなど、本市にとって追い風が吹いておりますので、その風にしっかりと乗り、引き続き、市政運営に努めてまいり所存でございます。

### (夏の観光入込客)

次に、観光振興についてでございます。

滞在型保養リゾートを目指して整備を進めております「長崎鼻リ

「リゾートキャンプ場」につきましては、徐々に認知度も上がってきており、7月には、日本最大級のキャンプ場検索・予約サイト「なっぷ」の人気ランキングで、海辺の「長崎鼻ビーチリゾート」が「九州で第2位、大分県内第1位」となり、夏休みの到来とともに大勢の宿泊客で賑わっておりました。

お客様の満足度を上げ、魅力的な観光地として名を高めようとする取組が、大手予約サイトをはじめ、旅行者の皆さんから注目をいただいたことは、とても良かったと心から喜んでいるところであります。

4月から8月末までの宿泊者数は、延べ4,089人で、前年比16%の増となっております。

また現在、デジタルアートギャラリーやアウトドアサウナ、コテージ等の整備に取り掛かっておりまして、さらなる飛躍を期待しているところでございます。

### **(農業振興)**

次に、農業振興であります。まず、うれしい報告でございます。

先月26日に、東京都立産業貿易センターで開催された「第9回全国高校生そば打ち選手権大会」に出場した高田高校そば打ちチームが、遂に団体の部で6位・敢闘賞に輝きました。チャレンジ3年目で初の入賞でございます。

そば打ち選手権大会は、そば文化の継承と手打ちそばの更なる発展・普及を目指して開催されております。勝敗は、「二八そば」1kgを制限時間内にいかに仕上げるかがポイントとなり、「水回し」、「こね」、「練り」等の工程はもとより、衛生面や準備、片付けも含め、総合的な審査によるものであります。

高田高校そば打ちチームの皆さんには、豊後高田そばを普及する一員として、今後とも頑張ってくださいと思っています。

次に、7月に佐賀県で開催されました「九州・沖縄地区青年農業者会議プロジェクト発表大会」におきまして、本市の坂田章太さんが最優秀賞を受賞されました。テーマは、白ねぎの育苗段階における省力化技術を取り上げたもので、規模拡大と労働時間の短縮を実証した内容が高く評価されました。

坂田さんは、来年2月に開催される全国青年農業者会議への出場が決定しているとのことであります。

7月8日には、大分県農業協同組合が運営する県内初の「広域白ねぎ就農学校」が呉崎地区に竣工し、市内はもとより、県内の新たな担い手の育成・確保に向けた取組が開始されました。

今後は、白ねぎによる新規就農の研修施設として、産地を担う人材確保を図るとともに、人口増に向けた移住・定住施策にも効果を上げていただけるものと期待しております。

### (平成31年度学力調査)

次に、本年4月に実施された学力調査についてでございます。

小学校5年生・中学校2年生を対象とした「大分県学力定着状況調査」では、小学校の全ての教科で大分県の平均値を大きく上回り、中学校でも多くの教科で平均値を上回りました。

また、小学校6年生・中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」についても、小学校は全ての教科で全国平均を超え、合計値は全国値を8ポイント上回っております。中学校では課題のあった数学が全国平均を2ポイント超え、合計値は全国値を4ポイント上回り、今年度も県内トップレベルを維持することができました。

これらは、各学校において、わかりやすい授業づくりや子ども一人ひとりに応じた個別指導を実施するとともに、学びの21世紀塾など、学校と家庭、地域が一体となった長年にわたる取組の成果と考

えております。

今後も、さらなる「教育のまちづくり・未来を拓く人材の育成」に努めてまいりたいと考えております。

### (スポーツの振興)

次に、スポーツの振興についてでございます。

各団体におけるスポーツでの活躍はたいへん目覚ましく、まず、少年野球においては、先月、佐賀県唐津市で行われた「第32回虹の松原旗争奪九州・山口地区親善少年軟式野球大会」で、高田少年野球スポーツ少年団が接戦を制してトーナメントを勝ち上がり、見事優勝いたしました。これは、大分県勢では初の快挙でございます。

中学校においては、九州大会で、戴星学園柔道部が体重別個人戦で優勝、高田中学校陸上部が女子800mで3位に入賞しました。全国大会では、戴星学園柔道部が体重別個人戦で5位に入賞する素晴らしい成績でございました。

高田高校男子柔道部においては、大分県高校総体で59年ぶりの団体優勝を果たし、全国大会に出場しました。

また、カヌー強豪校として知られる高田高校カヌー部においては、4月に兵庫県で開催された「海外派遣選手最終記録会」のカナディアンシングル1000m、同ペア1000mで見事優勝し、7月31日からルーマニアで行われた「カヌースプリントジュニア・U23世界選手権大会」に、2人が日本代表として出場しました。

全国大会の「文部科学大臣日本カヌースプリントジュニア選手権」が先月開催され、この大会でも、500mカナディアンシングルと同ペアの2種目で優勝、200mではカナディアンシングル、同ペア、同フォアの3種目で優勝を果たしました。

一般の「第72回大分県民体育大会」においては、各競技種目において安定した順位を獲得したことに加え、特に水泳や綱引きなどが

昨年に比べ得点をプラスできたため、昨年より順位を2つあげる総合10位、躍進1位の入賞に加え、B部入りを果たすことができました。

各団体・各年代において、スポーツでの好成績が報告され、大変うれしく思っているところでございます。

## 2. 提出議案等

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

### (予算関係の議案)

第41号議案の令和元年度一般会計補正予算（第2号）につきましては、5億5,718万6,000円の増額で、補正後の予算総額は、157億4,465万6,000円となります。

“令和”を迎えた本年度の市政も下半期を迎えようとしておりまして、直接的な移住支援をはじめ、福祉や教育の充実、商工業の振興などにより人口増の取組みを強力に推し進めるとともに、観光振興による活力創造や防災・減災による安全安心なまちづくりに資する補正予算を編成しております。

補正予算の主な内容につきましては、まず、総務費では、立地企業の工場増設に対するふるさと融資や、大分県と共同で県外からの移住促進に取り組む移住支援の経費、基金への積立金を計上しております。

民生費では、田染地区における新たな保育園の園舎整備に対する助成経費等を計上しております。

農林水産業費では、防災・減災のための排水機場の改修や、森林環境譲与税を財源とした調査経費等を計上しております。

商工費では、旧安東薬局の改修費や、長崎鼻のバーベキューテラスの整備に要する経費等を計上しております。

土木費では、急傾斜地崩壊対策事業等に係る負担金を計上しており

ます。

教育費では、これからの時代に求められる資質・能力を育むための調査研究事業に必要な経費を計上しております。

### (決算関係等の議案)

次に、第55号議案及び第56号議案の平成30年度の各会計における決算について、ご説明申し上げます。

一般会計決算の概要についてでございますが、歳入総額は157億9,951万7,720円、歳出総額は156億7,026万659円でありまして、翌年度へ繰越すべき財源2,261万3,000円を差引いた実質収支は、1億664万4,061円の黒字となっております。

普通会計における経常収支比率は94.8%でございまして、普通交付税の減に対して、市税の増収などもあり、前年度と比べ0.2ポイント低下しております。

市債残高は約170億5,000万円で、前年度から約15億円減少しております。これは、減債基金を財源に、銀行等からの借入金のうち約10億1,000万円を繰上償還したことが要因でございます。そのため、3月末の全基金の残高は約120億2千万円で、前年度から約7億6千万円減少しております。

そのほか、報第11号及び報第12号でご報告しておりますとおり、実質公債費比率は8.3%と、前年度と比べ0.3ポイント上昇しておりますが、早期健全化基準を下回るものとなっております。各会計における資金の不足もなく、健全経営に努めてまいったところでございます。

なお、各会計における詳細につきましては、平成30年度の「豊後高田市歳入歳出決算書及び歳入歳出決算事項別明細書」、「豊後高田市水道事業決算書」及び「主要施策の成果説明書」のとおりでございます。

### (予算関係以外の議案等)

次に、予算以外の議案等についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみ、ご説明申し上げます。

第42号議案の新市建設計画の変更につきましては、東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行により、合併特例債を起すことができる期間が5年間延長されたことに伴い、新市建設計画の一部を変更したいので、議決を求めるものでございます。

第47号議案の豊後高田市基金条例の一部改正につきましては、森林環境譲与税の創設に伴い、森林の整備及びその促進に関する施策に要する財源を安定的に確保するため、新たに「森林環境整備基金」を設置するものでございます。

第49号議案の豊後高田市定住促進無償宅地の譲渡等に関する条例につきましては、定住人口の増加を目的として、現在、旧都甲小学校運動場跡地と大村地区に整備しております「定住促進無償宅地」の譲渡等に関し、必要な事項を定めるものでございます。工事も順調に進んでおりまして、都甲地区は年内に、大村地区は来年3月に完成を予定しております。募集開始は、できるだけ早く、準備を整えていきたいと思っております。区画数は、都甲地区が7区画、大村地区が35区画の見込となっております。また、譲渡の対象者としたしましては、申請者本人若しくはその配偶者が満50歳未満の者又は15歳未満の同居親族を有する者であることを基本に、住所要件等を定めております。

第51号議案の豊後高田市立幼稚園条例の一部改正並びに第52号議案の豊後高田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正及び第53号議案の豊後高田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正につきましては、既に本市においては、「全国ト



ップレベルの子育て支援・第2弾」といたしまして、本年4月から、0歳児から5歳児までの市内公立幼稚園授業料、保育園保育料及び給食費の完全無料化に取り組んでおりますが、10月1日から実施される国の「幼児教育・保育の無償化」に伴う、子ども・子育て支援法等の一部改正により、所要の規定の整備を行うものでございます。

以上で、本定例会に提案いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。